

■直腸感覚閾値検査

来院2及び来院3で実施します。来院3での実施時間は、試験薬服用後5時間を目安に実施します。肛門からバルーンと呼ばれるゴムを挿入し、直腸内でふくらませ、検査します。最初に感覚を自覚した時点（緑色ボタンを押す）、便意を感じた時点（黄色ボタンを押す）、便意が耐えがなくなった時点（赤色ボタンを押す）でのバルーンの大きさを測定します。

ボタンを押した時点でバルーンの大きさが記録され、便意が耐えがなくなった時点で押すボタン（赤ボタン）は、ボタンを押すと即座に膨らんだバルーンが縮小します。

